

今泉の善得寺城

吉原といえ、宿場町として知られていますが、戦国時代、今川氏の保護のもとに栄えた善得寺の西側に、寺と並んで、善得寺城というお城があったことをご存知ですか。「城山」(現在の今泉、上和田町附近)といわれる所ですが、今は道路が通り城跡らしさは失われています。今回はこの善得寺城を紹介してみました。

今川氏の拠点

善得寺城は、善得寺が今川氏の官寺となり河東一の大寺として隆盛を誇った頃、寺と並んで築かれたと言われています。



善得寺城跡

昭和五十八年十二月五日号

善得寺は、「天寧庵」を起こした大勲策禪師という名僧を開山として今泉へ福王寺を建て、大勲策の死後善得寺と改名しました。

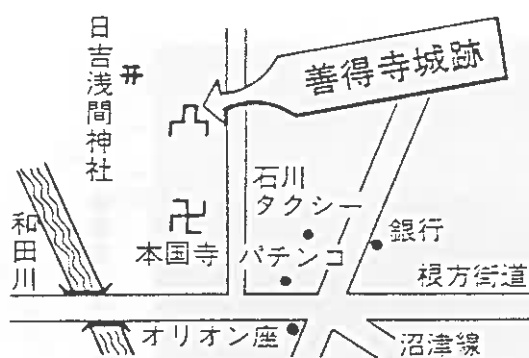
その後、なん度か兵火のために焼かれ、再建されたり、移転（今泉の寺市場や御殿）しました。

善得寺は富士川以東における今川氏の拠点として、また今川氏の軍師である太原雪斎の功による三将同盟（今川義元・武田信玄・北条氏康の三将が盟約を結んだ）の場として知られています。

この善得寺と並んで築かれた善得寺城は、今川氏の軍事的拠点というより岳南の地における今川支配の政治拠点としての役割が強かったといわれています。

しかし、現在の地形から城の規模構造を推

定するのは困難で、その起源や変遷についても不明の点が多いようです。善得寺城も善得寺も戦国の動乱のなかで今川氏の衰退とともに消えていったのでしうか。



今川氏の拠点